

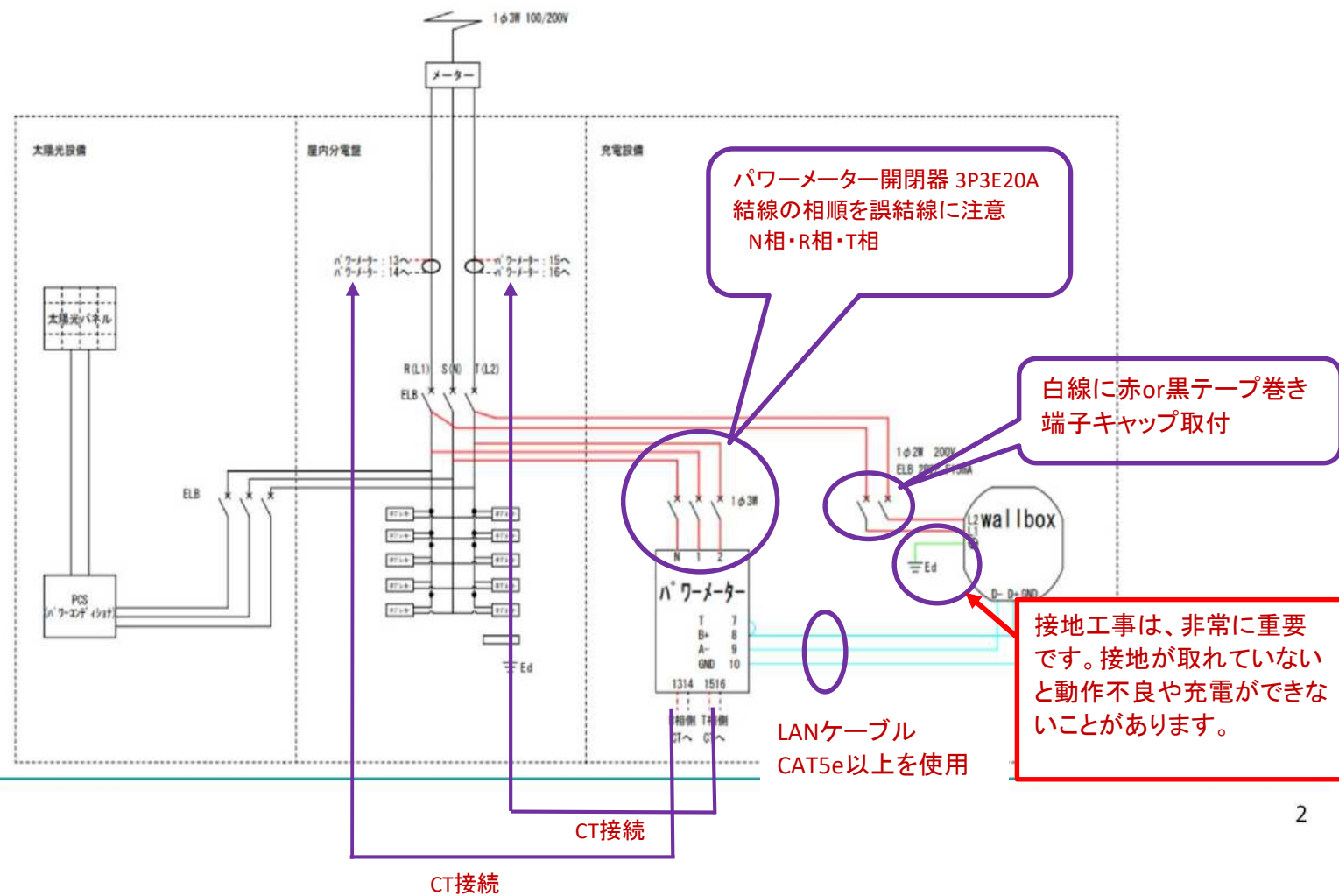


株式会社アイエーエナジー 施工要領書

メーカー：Wallbox（ウォールボックス）
商品名：Pulsar Plus（パルサープラス）



全体図



本体について

本体

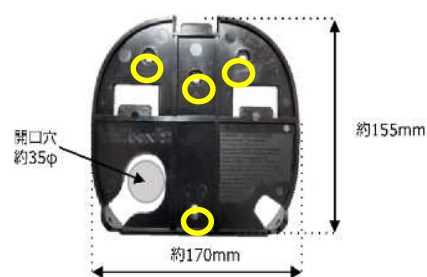


・配管開口：PFD管28相当

PFD管を必ず使用
PFS管はNG
コネクタ大きさに注意
(干渉しないように)



背面取付板



ビス30mm×5φ (SUS製)
カールプラグ使用 4か所止め

カバー背面



仕様

- ・本体寸法：198×201×99 mm
- ・重量：2kg ※ケーブルなし
- ・充電ケーブル長：5.5m
- ・接続：Wi-fi/ Bluetooth
- ・色：マットブラック
- ・充電プロトコル：SAE J1772
- ・動作温度：-22°F ~ 104°F (-30°C ~ 40°C)
- ・保管温度：-40°F ~ 158°F (-40°C ~ 70°C)
- ・定格電流/充電電力：40A/8kw
- ・定格電圧AC 210V±2% (200V~220V)
- ・定格周波数：50/60Hz
- ・設定可能電流：6A~40A (アプリ設定、OCPP)
- ・ディップスイッチ設定：16~40A (別紙9ページ参照)
- ・適用ケーブルサイズは 5.5mm² ~ 8.0mm²
- ・耐用年数：8年

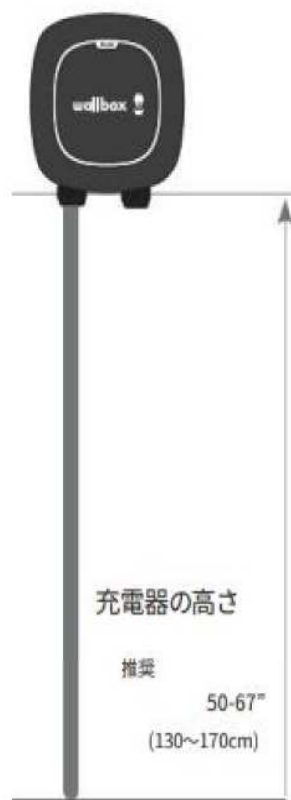


測定機器で必ず
確認してください



99 mm

本体の設置について(1/4)



位置決め

左の図に示すように充電器を設置することをお勧めします。

最小設置高さは、充電器の底部から測定して少なくとも18インチ(46cm)である必要があることに注意してください。

Wallboxでは、設置高さ50～60インチ(130～170cm)を推奨しています。

**取付位置は、必ずお客様立会いで現地にて
説明し確認してもらってください。**

**PF管の支持間隔は80cm以内で、かつ
配管端部より30cm以内で固定してください。**

本体の設置について(2/4)



充電器の取り付け

1. 充電器を慎重に取り外します。
梱包箱に入れて壁板の上から吊り下げます。

背面配線の取り付けの場合は、電源ワイヤを背面ポートに通して（コンジットを使用しない場合はゴム製グロメットに通して）、ワイヤを端子に簡単に接続できる十分な長さにしてください。

2. 2本のウォールプレートネジを取付けて固定します。
充電器を壁に取付けます。締めすぎないでください。



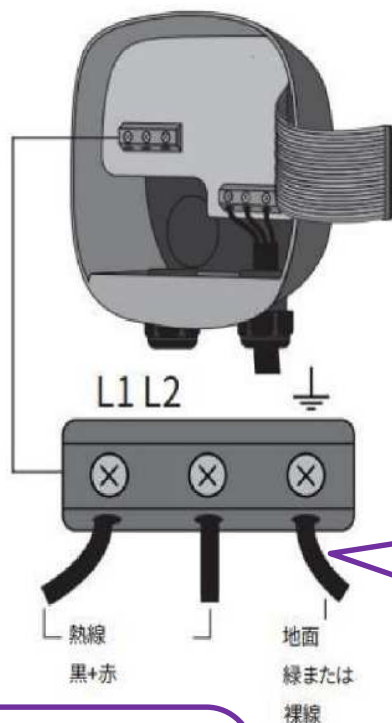
×2

φ3.5×9.5mm



精密ドライバー（+）が必要です。
将来のメンテナンスもありますので
ねじ山をつぶさないように注意してください。

本体の設置について(3/4)



L1・L2は開閉器と同じ相順にしてください。
電線被覆は、12mm剥いてください。
増締め確認も忘れないようにしてください。

電気配線

1. 下部配線設置の場合は、電源を供給します。
ワイヤを端子に簡単に接続するのに十分な長さのワイヤを下部ポートから供給します

注：コンジット接続を使用する場合は、コンジットを接続する前に配線を引き抜いてください。

2. 電線を接続します。

電気パネルが、選択したアンペア数に応じて定格の新しい専用2極回路ブレーカーを備えた208/240V専用回路をサポートしていることを確認します(次のセクションを参照)。
熱線(L1とL2)間の電圧は208/240Vである必要があります。

3. ワイヤー内のみ銅導体を使用してください。

サイズ範囲は 5.5mm²～8.0mm²



4. 各ワイヤから絶縁体を12mm(1/2インチ)剥がします。
図に従ってワイヤを挿入し、各コネクタのネジを11.5インチ・ポンド(1.3N・m)で締めます。

本体の設置について(4/4)



充電器を閉じる

1. 通信ケーブルを慎重に取り付け直します。
充電器カバーに取り付け、充電器のカバーを閉じます。
2. 四隅のネジを差し込んで固定します。
充電器カバーを締めすぎないでください。
3. 底面を正しく揃える
ネジの開口部を閉め、カバーフレームを充電器に置き、フレームをネジで取り付けます。
締めすぎないでください。

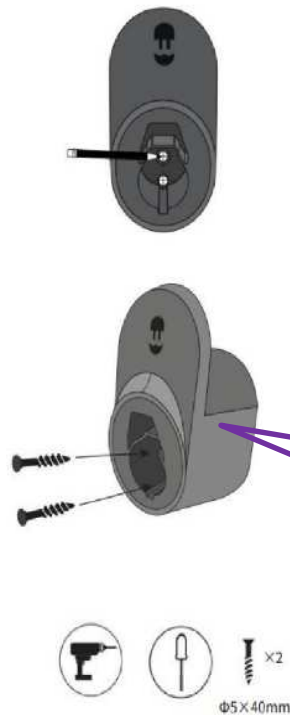


トルク：13.3インチ・ポンド (1.5N・m)
トルクス：サイズ「T-20」



[T-20]のトルクスドライバーを、必ず用意してください。
持参しないと、本体の蓋を開けられませ

充電フォルダーの設置について



ビス40mm×5φ（SUS製）
カールプラグ使用 2か所止め

ホルスターの取り付け

充電ケーブルに張力がかからないように注意しながら
最も都合の良い場所に配置してください。

設置高さ

- ・屋外：18-48インチ(45-120cm)
- ・屋内：24-48インチ(60-120cm)

寸法：約95×約165×約90 mm

充電フォルダー取付位置を、お客様に確認して
下さい。
WALL BOX本体にケーブル荷重がかからないよう

施工後に、ウエス等でケーブルをきれいに
拭いてお客様へ引渡しをしてください。



本体の設定について(1/2)



デフォルトで位置「7」です

ロータリースイッチの設定に、精密ドライバー（－）が必要です。

* 重要

ロータリースイッチの矢印を既定の出力の番号に設定してください。

定格電流調整

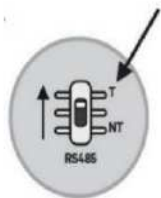
1. Pulsar Plusの40Aバージョンは16Aから各モデルの最大定格アンペア数まで調整できます。充電器の最大定格よりも低い定格の回路に充電器を設置する場合は、電流セクターを使用して最大電流を手動で低く設定できます。

2. 充電器のカバーで、現在の電流を確認します。

セクターを選択し、ロータリースイッチを以下の表に従って適切な設定に設定します

位置	アンペア	漏電ブレーカの定格	
2	16A	3.2KWの場合	2P2E20A
3	20A	4.0KWの場合	2P2E30A
4	24A	4.8KWの場合	2P2E30A
5	32A	6.4KWの場合	2P2E40A
6	40A	8.0KWの場合	2P2E50A

本体の設定について(2/2)



終端抵抗の設定

充電器を開いた状態で、カバー上の RS485 終端スイッチの 位置を確認し
スイッチを T の位置に設定します。

WALL BOX蓋側に終端抵抗のスイッチ
がありますので「T」に設定してください。

見落としがちですので、注意してくださ
い。

本体の動作について

Pulsar Plusステータス色について

電源を入れたら、充電器の前面のLED色で充電器のステータスを素早く簡単にチェックすることができます。



緑色

充電器はEVに接続されていません。充電器はいつでも使用可能です。



水色

充電開始を待っています。充電が開始するまで数秒を待っていただく場合があります。



薄いブルー
(点滅)

スケジュール充電中です。



濃いブルー
(点滅)

充電中です。



黄色

充電器がロックされています。



赤色

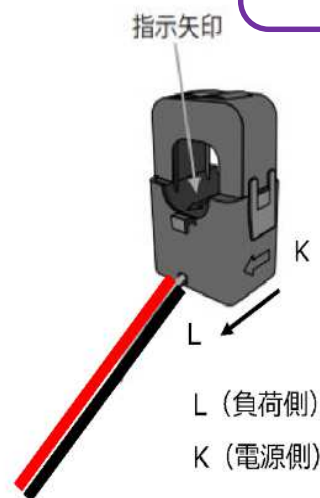
エラーが検出されています。アース施工の確認をお願いします。

すべての施工が終了したのち、必ずお客様立会で動作確認を行ってください。

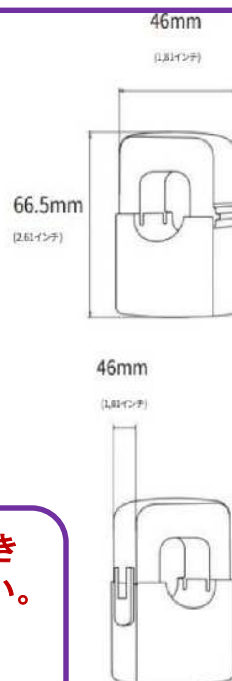
(動作状況によって、前面のランプ色が変わることも)

CTクランプについて

メインブレーカの一次側に設置。
パワーメーターの接続は2ページを
参照してください。



事前に、取付スペースが確保でき
ているかどうか確認してください。
(特に住宅用分電盤内)



仕様

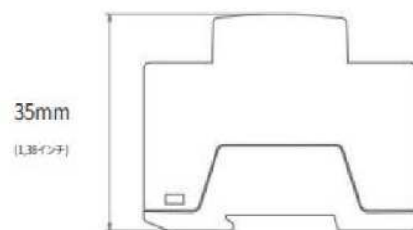
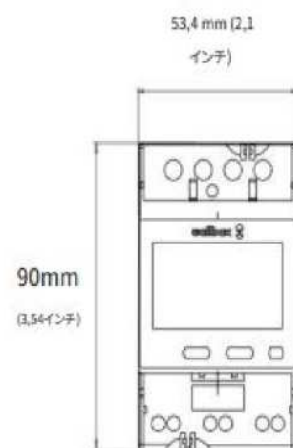
- ・最大250Aの電流を測定可能
- ・挟める最大の電線の太さ 最大直径24mm,断面積425mm²
- ・寸法: 46×66.5×46 mm
- ・ケーブル長: 約1m ※延長は推奨はしていません。
- ・線種: STYLE 1007 16AWG 80° 300V VW-1

接続

契約ブレーカー1次側のR相、T相に接続する

重要！
クランプを設置する際は、電流方向を示す内部の
矢印に従ってください。

パワーメーターについて



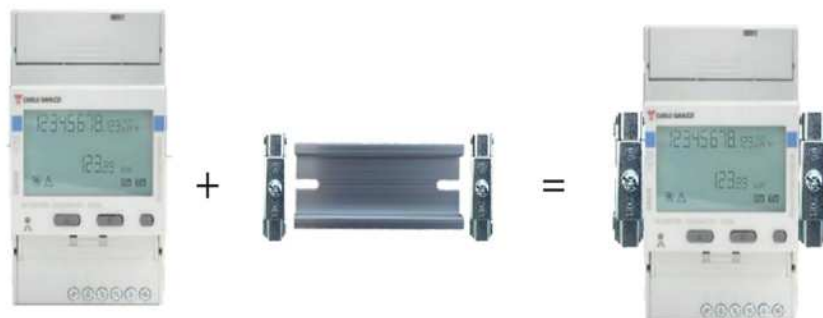
仕様

- ・最大250Aの電流を測定可能
- ・寸法：53.4×90×35 mm
- ・重量：280g
- ・動作温度：-25～+55℃
- ・保管温度：-25～+70℃
- ・電源：AC200V

パワーメーターの取り付けについて(1/3)

取り付け

DINレースとストッパーを使用して固定する。



参考品

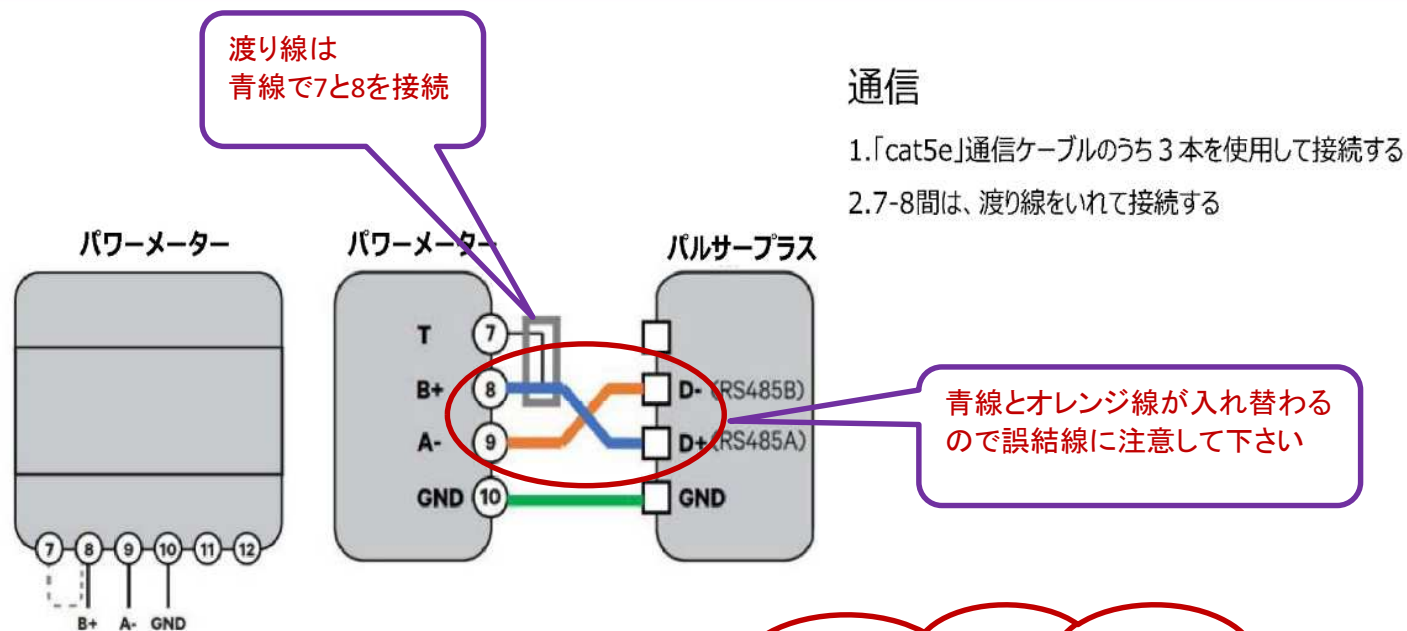
TAKACHI製 : FDR-80 1個

TAKACHI製 : TKR-TWE1 2個

***弊社支給材です**

※付属品ではございません。ご準備をお願い致します。

パワーメーターの取り付けについて(2/3)



LANケーブルは、上図と同色を使用してください
また、細くて折れやすいので
接続後に再確認をお願いします

パワーメーターの取り付けについて(3/3)



①下にスライド



②手前に持ち上げる

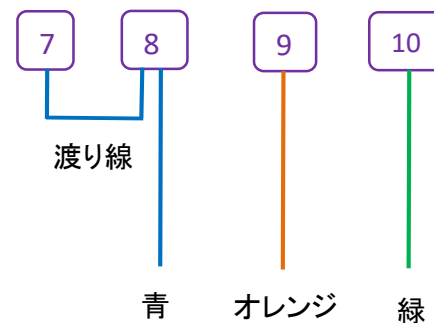


赤相 黒相



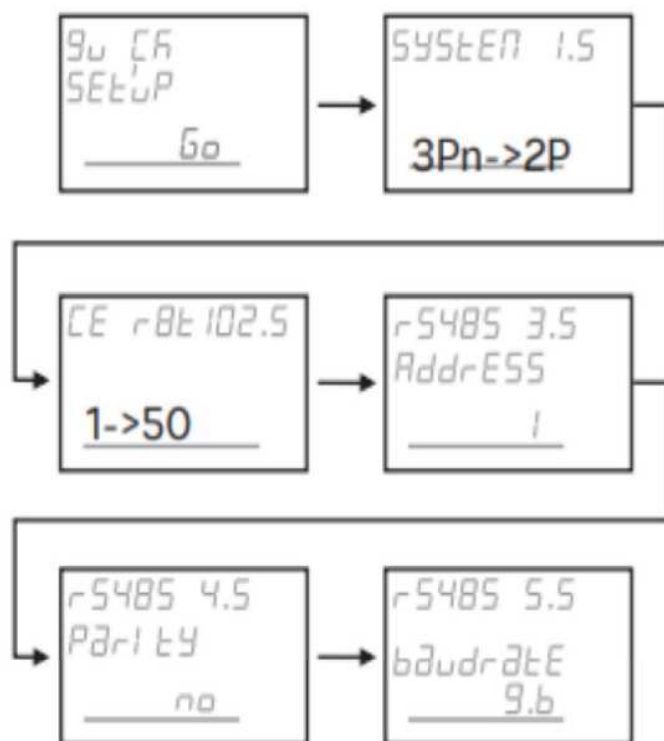
CTクランプ接続

1. 2段階構造になっており、①下にスライドします。
2. ②手前に持ち上げる
3. CTクランプ線を13-14(赤相)、15-16(黒相)に接続します。
4. 接続後、元に戻します。



上図のようにLANケーブルを接続してください

パワーメーター設定(1/2)



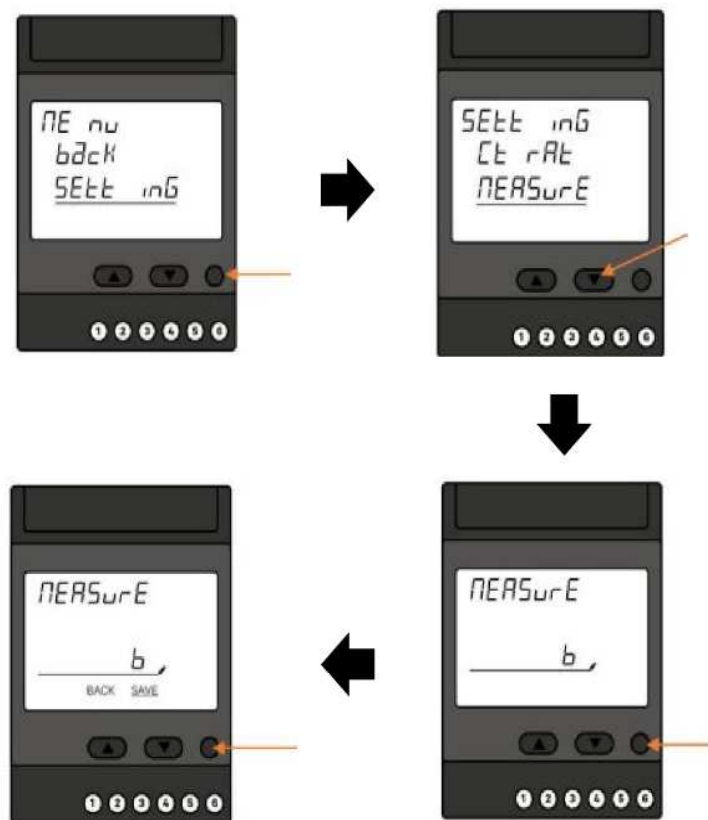
設定手順

1. [GO]を選択します。
2. システム画面上で、[2P]まで下にスクロールして、[Enter]を押します。
3. Ct rAtメニューに進みます。
4. [OK]を押します。
5. [Ct rAt値]を最大50に設定して、
同梱の250 A クランプと一致するようにします。
6. メーターは正常に構成されました

※Ct rAt値：CT比

※Eco-Smartを有効にするには次ページの設定をお願い致します。

パワーメーター設定(2/2)



設定手順

1. [設 定] が表示されるまで、ENTER ボタンを押します。
2. 下矢印ボタンを使用して、「Ct rAt Measure:」までスクロールします。3. ENTER ボタンを押します。
4. b までスクロールします。
5. Enter を2回押して設定を保存します。
6. [End]まで下にスクロールします。
7. 「Back」まで上にスクロールします。
8. Eco-Smart 構成が正常に保存されました。

アプリ設定 : Power Boost

パワーメーター設置・設定後、myWallboxアプリを開きます。アカウント未作成の場合は、アカウントを作成します。

1. 右上の歯車をクリック
2. Bluetoothで接続した上で、Power Boostを選択。
3. 有効にし、最大電流値（メインブレーカーのアンペア数）を入力し、保存。



主開閉器や契約容量で
設定してください。

アプリ設定 : Eco Smart

パワーメーター設置・設定後、myWallboxアプリを開きます。アカウント未作成の場合は、アカウントを作成します。

重要 : Power Boostを有効にし、設定した上で、Eco Smartを有効にしてください。

Power Boost→ Eco Smartという順番を間違えてはいけません。



Power Boostを有効にした後、Eco Smartを有効にし、
EcoモードまたはFull Greenモードを選択し、保存する。

工具・材料リスト



お願い

施工日前までに材料・工具を準備して、
当日不足するものがないように
心掛けてください。
(慌てたり、焦ると単純ミスや施工不良の
原因にもなります)

1、【工具、固定ビス】

取り付け板を固定するために、対象物の材質にあった用途のものをご使用ください

2、【精密マイナスドライバー 2.4m/m】

ディップスイッチ切り替え用



3、【トルクドライバー T-20】

カバー固定用



4、【精密プラスドライバー #1】

パワーメーターに配線、ケーブルを固定する際の工具

5、【金具DINレース1枚、ストッパー2個】

パワーメーター用 参考品：TAKACHI製：FDR-80 1個 TKR-TWE1 2個

6、【その他の工具】

一般的な電気工事に必要な工具

7、【その他の材料】

充電器用ブレーカー、ケーブル・パワーメーター用ブレーカー、LANケーブル(cat5e)
端子、キャップなどの必要に応じた材料。